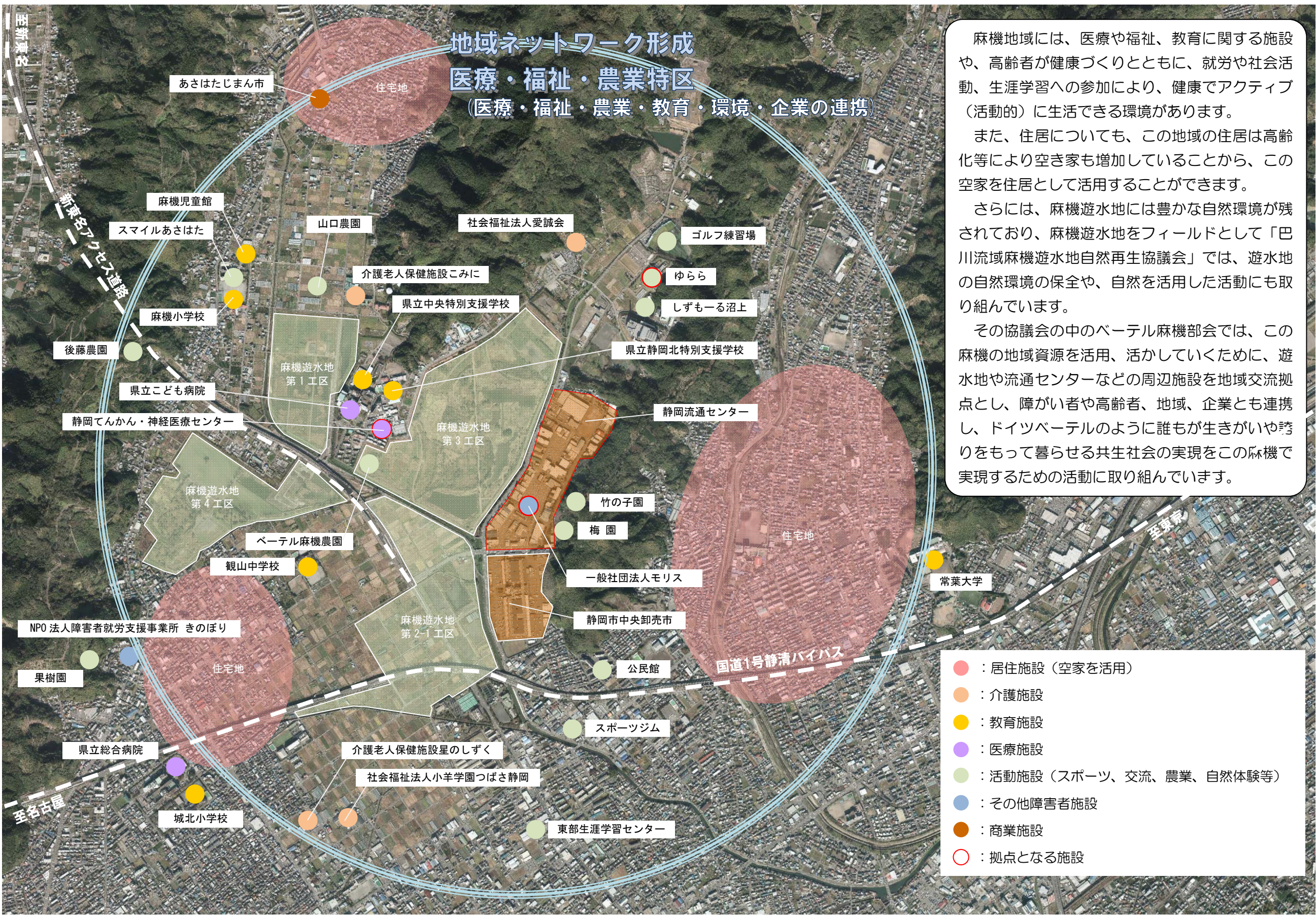


1.ペーテル麻機型 CCRC(案):麻機地域の既存施設



麻機地域には、医療や福祉、教育に関する施設や、高齢者が健康づくりとともに、就労や社会活動、生涯学習への参加により、健康でアクティブ（活動的）に生活できる環境があります。

また、住居についても、この地域の住居は高齢化等により空き家も増加していることから、この空家を住居として活用することができます。

さらには、麻機遊水地には豊かな自然環境が残されており、麻機遊水地をフィールドとして「巴川流域麻機遊水地自然再生協議会」では、遊水地の自然環境の保全や、自然を活用した活動にも取り組んでいます。

その協議会の中のペーテル麻機部会では、この麻機の地域資源を活用、活かしていくために、遊水地や流通センターなどの周辺施設を地域交流拠点とし、障がい者や高齢者、地域、企業とも連携し、ドイツペーテルのように誰もが生きがいや誇りをもって暮らせる共生社会の実現をこの麻機で実現するための活動に取り組んでいます。

2.ベーター麻機型 CCRC(案):麻機地域の活用コンテンツ ～地域資源を活かして～

■多世代交流（運営スタッフ）

麻機地域では、自然体験や地域のイベント、歴史、文化の継承等を通じて、多世代が交流する機会があり、そういった場で障がい者が運営スタッフとして様々な役割を果たしています。



各種イベント、歴史・文化の継承 等

■歴史・文化（ガイド・作業スタッフ）

麻機地域には、柴揚げ漁や沼のばあさんの伝説など、多くの歴史、文化が残されており、障がい者がガイドや様々な取り組みを通じて次世代の継承にも取り組んでいます。



柴揚げ漁、沼のばあさんの伝説、諏訪神社 等

■くつろぎカフェ、食堂、コンビニ（雇用）

麻機に隣接する福祉施設や病院などには高齢者や障がい者がくつろげるカフェがあり、現在も障がい者が接客等の仕事に従事しています。今後は貧困層の子供のためのベーター麻機こども食堂の運営にも取り組んでいきます。これらの施設では、市民と高齢者や障がい者、子供などとの交流の場、障がい者の雇用の場としても期待されます。



こみに、てんかんセンター、ゆらら 等

■農園・果樹園（職業訓練）

福祉農園や、レンコン畑、果樹園などの農園があり、市民交流や障がい者の職業訓練の場としても活用しています。



福祉農園、後藤農園、山口農園、流通梅園 等

■静かな図書館、児童館（雇用）

麻機地域には、静岡図書館麻機分館があり、静かで落ち着いた雰囲気のある図書館で、麻機の歴史や文化に関する書籍が多く所蔵され、麻機の文化や歴史について学ぶことができます。



また、児童館などもあり、障がい者と連携し子育て支援にも取り組むことにより、障がい者雇用の拡大が期待されます。

静岡図書館麻機分館、児童館、スマイルあさはた 等

ベーター麻機型CCRC

- 特徴：
- ・障がい者が主役
 - ・既存施設の再生
 - ・既存ネットワークが充実
 - ・多世代交流のコンテンツが充実
 - ・健康マイレージの活用

■社会・余暇活動、サークル活動（運営スタッフ）

麻機地域には社会福祉施設や生涯学習センターも多く、様々な社会貢献活動に参加できます。また、ゆららやゴルフ練習場、スポーツ施設などもあり、余暇活動やサークル活動の場も充実しています。さらには、遊水地は自然観察やウォーキングなどでも利用されており、そういった場では障がい者が運営スタッフや案内役として活躍が期待されます。



ゆらら、スポーツジム、ゴルフ練習場、遊水地、生涯学習センター

■自然体験（ガイド・運営スタッフ）

遊水地やその周辺部には多くの自然が残されており、自然を活かしたアクティビティや自然体験活動が行われ、ガイドや運営スタッフとして障がい者が活躍しています。



麻機遊水地、巴川、賤機山 等

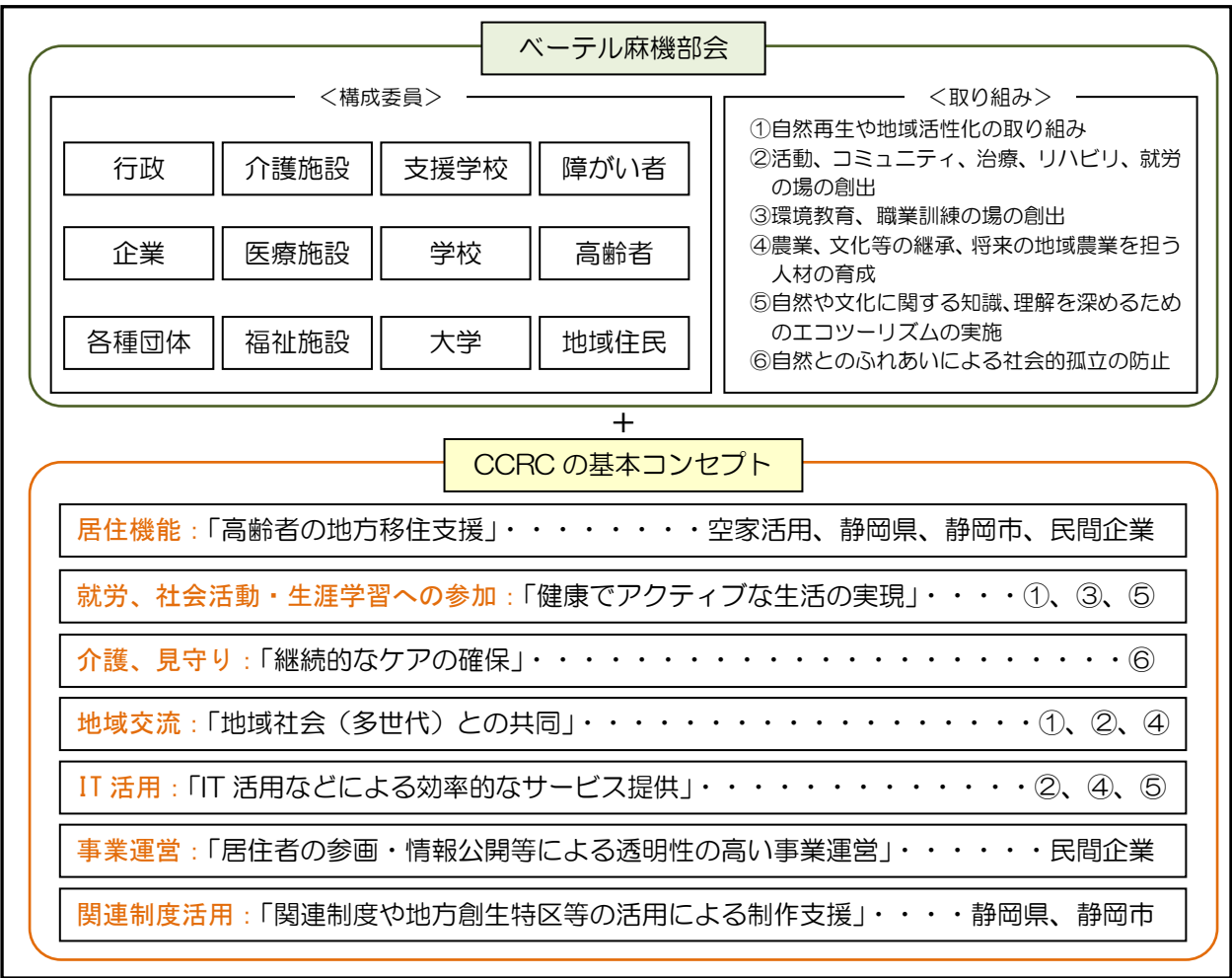
■四季を感じる自然（管理）

遊水地では、季節に応じた花や景色や、周辺の果樹園でも季節ごとの彩を楽しむことができ、これらの管理作業を障がい者の協力を得ながら行っています。



麻機遊水地、巴川、賤機山 等

3. ベーテル麻機型 CCRC の取り組み（案）



『ベーテル麻機型 CCRC』 特徴：障がい者が主役

これまでのベーテル麻機部会での取り組みに加えて・・・

- 「地域開放型農家レストラン」:
地域農家と障がい者が連携したオープンキッチンや、ベーテル麻機こども食堂の開設
- 「病院、福祉施設、隣接施設の開放」:
地域コミュニティ、加工、販売、地域交流拠点等として活用
- 「6 次産業化、農業特区」:
福祉施設や医療機関、流通センター、地域住民、企業等が出資し、工芸品、お菓子等のベーテル麻機ブランド化に取り組み、その加工品の開発、販売、共同店舗、福祉農園の開設
- 「健康増進支援」:
ゆらら・スポーツ施設との連携、自然体験、農業体験による健康増進支援等の多様なプログラム
- 「地域見守り支援」:
御用聞き、宅配やコミュニティバスの運行、地域コミュニティの形成の場の創出による子育て支援、高齢者等の見守り支援
- 「ベーテル麻機医療・福祉特区（ふじの国福祉バレー）構想」:
情報発信センターの整備、福祉車両等の開発と自動運転特区のための道路整備、障がい者のための職業訓練、就職の斡旋等

4. ベーテル麻機と医療・福祉特区（ふじの国福祉バレー）構想

静岡てんかん・神経医療センター 院長 井上 有史
静岡県立こども病院 院長 瀬戸 嗣郎

■目的

日本の持っているあらゆるハイテクを注入し、高齢者、障害者、病気のある子どもや人が自立、共生できる街を構築する。日本だけでなく高齢化社会を迎えるあらゆる国や地域へのモデルタウンとし、日本の技術やインフラ輸出の柱に育てる。これらユニークで先進的な取り組みにより、静岡市が全国、世界から注目される存在となる。

■具体化のための方策

- 1) 福祉バレー情報センターの整備
福祉バレーの基地、事務局として、事業の推進と管理、情報の共有および発信を行う。研究・啓発のためのセミナー室や情報室、展示室などを併設し、作品や製品などの展示・販売も可能な設備を整える。
- 2) 企業の誘致
税金の優遇、土地取得の簡素化など技術開発特区としてのメリットをもたせ、目的に沿う企業を誘致する。
- 3) 道路の整備
自動運転特区のための道路網の整備を行う。
- 4) 居住区の整備
居住区を整備し、障害者の自立を支援するための技術開発が可能な生活訓練施設を誘致する。スポーツや生活に潤いを与える機会を提供する施設の整備も必要である。また医療や福祉に付き添う人のための宿泊施設を整備する。
- 5) 就労支援施設の誘致
多様な職種における就労支援技術開発を想定した障害者のための就労訓練施設を整備・誘致する。
- 6) 公園の整備
遊水地公園計画との整合性を図る。
- 7) 協議会の設置
医療・福祉特区実現のために下記のパートナーとの協議会を設置し、今後の具体的な方策及び運営について話し合う。
 - ① 医療および医療関連機関
 - ② 学校、PTA
 - ③ 高齢者施設、障害者生活支援施設および関連ネットワーク
 - ④ 授産施設・特例子会社等
 - ⑤ 地域
 - ⑥ 産業（福祉メーカー、IT メーカー、自動車メーカー等を含む）
 - ⑦ 行政（市、県、厚生労働省、経済産業省、文部科学省、国土交通省、警察等）
 - ⑧ 当事者
 - ⑨ 学識経験者

5. 美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)

■基本目標

1. 地方における安定した雇用を創出する

- 蓮根や柑橘類を活用した商品開発、ヨシやタケなどの地域資源を先端技術に活用
- 病院、学校、老健などの施設の協力を得て車いす、ベッドなどの福祉機器の開発拠点化、輸出

2. 地方への新しいひとの流れをつくる

- 自然教育、健康教育、障がい教育を地域の社会資源（自然保護団体、病院など）を活用して推進
- 地元の高齢者（おばあちゃん）、地場産品、地域資源（含新東名）を活用した観光地づくり、情報発信

3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

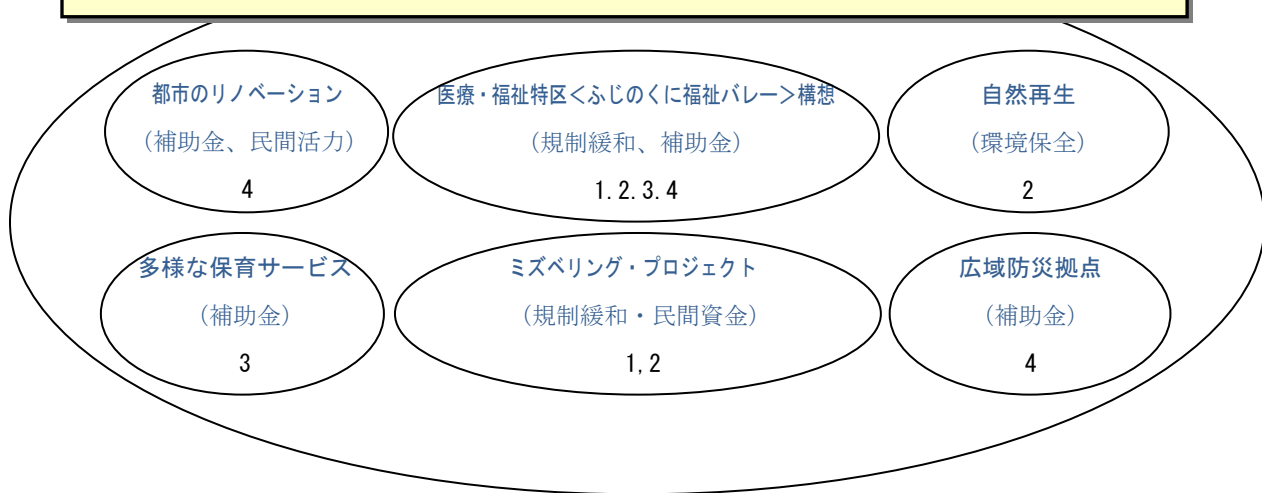
- 不登校など就業に困難を抱える若者の就労体験から雇用まで（Balance など）
- 病児保育、障害児の放課後児童支援など（こども病院、てんかんセンターなど）
- 子供病院、てんかんセンターと特別支援学校、隣接する学校との連携

4. 時代に合った地域をつくり、安全な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 自然体験レクリエーション、こころのリフレッシュ、医療の健康産業
- 新東名取り付け道路、防災ヘリポートを活用した、自衛隊等の広域応援部隊等の受入れ、非常時のための施設を平時に活用（逆もあり）
- 障がい福祉計画の拠点整備（地域での高齢・障害福祉、子育て支援などのワンストップサービス）
- 静岡流通センターを障がい雇用センター化

■まち・ひと・しごと「長期ビジョン」「総合戦略」との関連施策

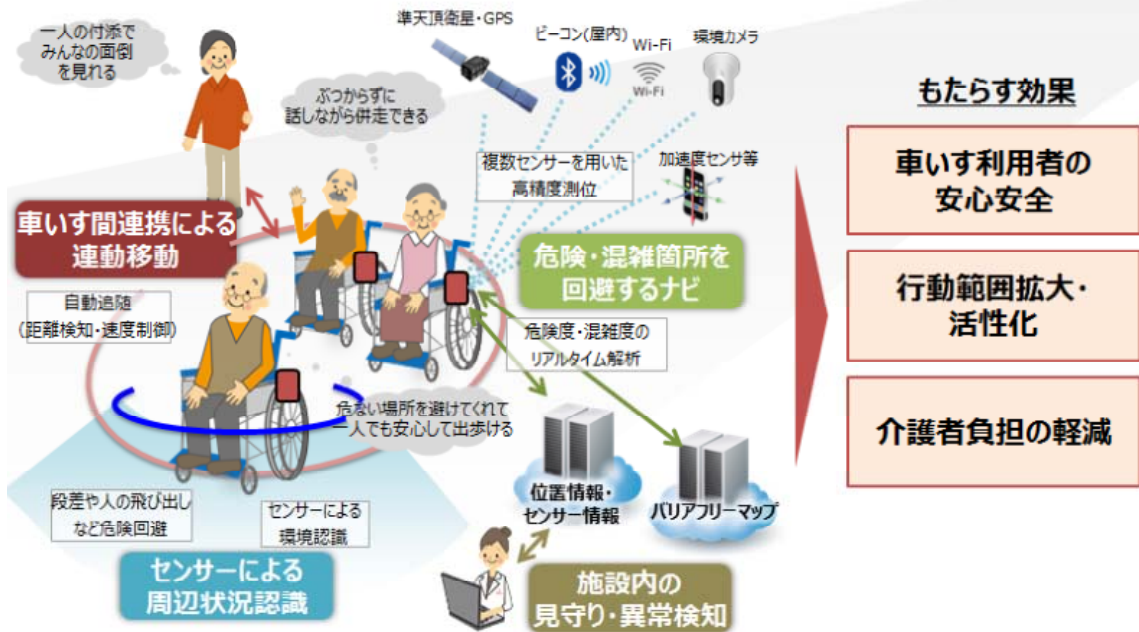
美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生総合戦略



6. ペーテル麻機医療・福祉特区(ふじの国福祉バレー)構想、パーソナルモビリティイメージ図

■歩行困難者が介助なく外出できる社会（ロボット電動車いす）

主要施設のバリアフリーマップ整備と、屋内外における高度な測位技術の確立によって、ロボット電動車いすによる、安全な自律移動・連携移動を実現する



＜パーソナルモビリティ参考資料＞

・セニアカー
(スズキ㈱)



・スマートパル
(フランスベッド㈱)



・JINRIKI
(㈱JINRIKI)



・WHILL
(WHILL㈱)



・doop
(静岡文化芸術大学)



・けんきゃくん
(㈱協栄製作所)



・JW スウィング
(ヤマハ発動機㈱)



・ビビチャージA
(パナソニック
サイクルテック㈱)



参考：参考：「先端ロボット技術によるユニバーサル未来社会体験プロジェクト」

平成 27 年 4 月 2 日 文部科学省資料より

■来年度の重点目標

- 麻機地域の病院間のネットワーク構築
- 事業運営できる民間企業の誘致
- 交流施設を結ぶコミュニティバスの運行